

掛川市立総合病院・看護部広報紙

nurse cap ナースキャップ

No.47

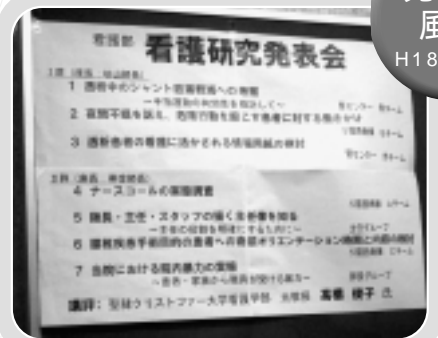
平成19年2月

平成18年度

看護部 研究発表会



発表会
風景
H18.12.21



アンケート集計結果

職種別暴力体験内容 (重複回答あり)

	体験あり	身体的	言語 非言語的	性的
医師	2	2	2	0
看護師	115	92	82	30
技師	11	5	6	1
事務職員	11	0	11	0
ヘルパー	8	4	4	3
その他	0	0	0	0
計	147	103	105	34

患者・家族からの暴力体験は看護師だけでなく多職種に及んでおり、複数の体験をしていた。私達はセーフティーマネージャーの立場から行動を起こしていきたいと考えています。

追伸 数年前はデータの集計を手作業で行ったものでした。今回はパソコンを使えました。入力すれば一瞬にして並べ替えてくれます。便利になったものですね。

そこで看護研究として取り組む事にしました。全職員585名に質問紙を配布し、442名から回答を得ました。147名が暴力を体験していました。表をご参照下さい。

医療機関において、職員が患者・家族から受ける暴力の問題が取り上げられることが多くなりました。私達自身、これは暴力ではないかと感じたり目にした、耳にしたりします。

研究テーマ
「当院における院内暴力の実態」
戸田三枝子

救急外来の

受診方法が変わって3ヶ月!!

『救外は変わったのか?』

医師不足による荷重労働を解消する目的で、掛川市では平成18年10月より夜間診療の開業医による当番医制が導入され、受診方法が変わりました。当院でも平日17時〜22時と土日祝日の9時〜17時まででは看護師による医療相談を実施し、症状によっては当番医の紹介をしています。今回の新救急体制後の病院受診者数はどう変わったでしょうか。

救急外来受診者の状況				
月	対応時間		H17	H18
10月	平日	17時〜	244名	181名
		22時〜	250名	184名
	休日	昼間	461名	252名
		夜間	346名	304名
11月	平日	17時〜	210名	151名
		22時〜	211名	203名
	休日	昼間	416名	183名
		夜間	261名	316名



相談窓口にて問診中

掛川市の市民啓発の効果もあって当院の救急外来受診者数は前年度と比較して減少傾向が見られ、反対に当番医への受診数は増加しています。今年は例年より早く胃腸炎の発症があります。11月の受診者数は少し増えています。

今後職員の皆様の啓発活動により、「地域全体での医療体制の確立」ができていけるように市民に向けての一層の働きかけをお願い致します。

ICLS認定 に向け

特訓中

ACLSコース



インストラクターの立場から

2西 前田久美子

私がACLS・ICLSを知ったのは3年前の事で、勉強会へ参加したのがきっかけでした。実技、筆記試験もあり、当日の勉強会は大変だったけれど、楽しくもあり、学ぶ事が本当に多かったのを覚えています。その後少しずつ院内でも勉強の輪が広がっていき、AEDも設置さ

れました。医師がいなくても、まず看護師として急変時にできる事はあり、医師が到着した後は継続して対応でき、それが患者さんの救命につながると思います。

インストラクターとして勉強会に参加する中では、どうしたら分かりやすく伝わるか、楽しく参加してもらえるか、受講生の立場の時よりも勉強した程ですが、それがより自分のためにもなり、当日一生懸命勉強会に参加してくれた受講生方を見て、やってきてよかったなと思えました。今でも急変時には慌てて、混乱してしまう事はあります。そのためにも、継続して勉強していくことが重要だと思っています。



H18.11.9インストラクターによる救命処置の説明

- A**CLS
二次救命処置
- A**dvanced
- C**ardiovascular
- L**ife
- S**upport
- I**CLS
ImmEDIATE
- C**ardiac
- L**ife
- S**upport

ホッとすると話

一度は行ってみたい 高野山



5東 前田 路子

そこは千二百年という悠久の時間が流れ幽玄な世界が広がってと勝手にイメージし憧れていた高野山へ定年を控えた最後の年に旅行できてラッキー。時期も紅葉のベストシーズンだったし、老杉に囲まれた百十七の寺院と、四千人の住民のうち一千人が僧侶という宗教都市の他の街とは異なるたたずまいに魅了された。専

門ガイド付きで訪れた奥の院には太閤秀吉から太平洋戦争の英霊までのお墓が点在し、中でも目をひいたのが有名企業の名前を刻んだ墓石が連なっていたことだった。一畳分の墓地代が一千万円すると聞きビツクリ。商売上手!! 参道を散策しながら延々と続く紅葉に「わぁーきれいなと歓声をあげる程。黄葉紅葉の波が鮮やかでその下を歩くお遍路さんの姿が映画のワンシーンのよう。また食いしん坊の身には豆腐料理もおいしかったです、今度は宿坊に泊まって精進料理をと次回に思いを馳せていた。



高野山の紅葉をバックに美女2人

また食いしん坊の身には豆腐料理もおいしかったです、今度は宿坊に泊まって精進料理をと次回に思いを馳せていた。

トピックス



清水まゆみさんのパネル発表

全国自治体病院学会 鹿児島県「宝山ホール」

10/19-20

発表演題

- | | | |
|---|------------|-------------------------------|
| 1 | 外来第2 清水まゆみ | 「外科外来で化学療法を受けている患者への関わり方の一考察」 |
| 2 | 2東 桑原 順子 | 「車イスを快適に」 |
| 3 | 5西 石黒 生子 | 「転倒転落予防に向けての『安全のための報告書』の改善」 |

編集後記

暖冬とはいえ、やはり新年になり寒い日が続いています。この寒さの中でも春は着実に近づいています。コチコチに凍ったネモフィラの葉の下には硬いツヤツヤしたチューリップの芽がのぞいています

す。力強いエネルギーがたまっている様子がかがえて見えているだけで元気が出ます。さあ、あと2ヶ月春までもう少し！ かぜをひかないでがんばろう！

(久保田)



院内の医療安全の研修会 北澤弁護士の講演会

医療の安全を守る。 患者としての体験を踏まえて

医療安全室長 杉山登志子

「医療安全管理室」が開設されて三年経った。本当にこの病院で、現場で安全な医療が行われているか検証する機会を得た。急な入院、手術で術前検査や手続きを受けたがその部署で当然のごとく「患者確認」をしながらすすめていく。何度も名前を問いなおされても違和感はなくすぐ応じられる。入院するとすぐ「ネー



北澤弁護士

ムバンド」が確認のもとにはめられる。手術室に入る際にも複数で病棟から「呼名」と「カルテ」で引き渡された。術後も次々と点滴や追加薬品が使われたがその都度「お名前を覚えて下さい」である。意識がもうろうとしていた時は付添の家人に「すみませんがお母さんは眠っているようなので代わりに私と一緒に名前を確認してください」というナースの声が遠くに残っている。何度でも同じ行為が同じ基準や規則ですべての部署と職員が実施する。これが安全管理活動で患者さんを守ることの基本であると思うし病院の強みである。自分の責任において「安心と安全をまもるのは病院職員として最大の義務であり、職員も守られているという安心がなければ出来ないことである。活動が根づいてきている、守られているということが患者として実感できた日であった。

ヘルパー研修

外国人が安心して受診環境づくり

外来 深谷敬子

近年、外国人が受診される人数もふえる中、不安なく病院にかかる事ができるようにと、私達外来ヘルパーは「患者様が安心して受診できる環境づくり」を研修目標に活動してきました。特にブラジルの方が受診する機会が多いので、ポルトガル語での院内表示、各科共通での検査説明文を作成してみました。読み方も発音もわからないため、講師、樋代典子先生の指導のもと、まずは日常会話、挨拶などを教えていただきました。「Bon dia(ボンヂーア)おはよう(う)ございます」「Tudo bem?(トゥドベン)お元気ですか?」と簡単な挨拶はみなさんできるようになったようです。そしてポルトガル語での病院案内図や説明文を作り上げることができました。救外、総合案内には、日本語、英語、ポルトガル語の案内図を設置してあります。受診してきた外国人に役に立っているようです。少しでも患者様が安心して受診できるお

手伝いができたのではないでしょうか。

部署の違うヘルパー13名が一つの目標に向かって活動していくことは大変な部分もありましたが、お互いに理解しあいながら仕事をすることの大切さを学びました。今後ひきつづき患者側に立ち、安心して病院に受診できるように、継続していきたいと思えます。



外来ヘルパーのみなさん